

12 肥効調節型肥料入り銘柄の活用

○速効性の化学肥料とイネの生育中期から後期に必要な窒素が溶け出す肥効調節型肥料（被覆肥料等）を組み合わせ、夏の暑い時期の追肥作業を省ける銘柄です。

○基肥散布のみで窒素の肥効が持続します。

〔初期生育の確保（化成肥料）、生育中期～後期の生育確保（被覆肥料）〕

○JAグループの肥効調節型肥料入り銘柄は、肥効が安定しているため安心して使用できます。
水稲用で普及が進んでいますが、園芸用としても活用可能です。

このような生産者にお奨め！
～肥効調節型肥料入り銘柄のメリット～

1. 施肥作業が大幅に省力化される。
2. 被覆肥料を利用すると、肥料の利用率が上がるので減肥が可能となる。
3. 生産の安定化が期待できる。



肥効調節型肥料
※被覆肥料や化成肥料
をブレンドして製造

新配合肥料（一例）



	規格	成分量（％）			窒素成分量内容（％）			
		窒素	リン酸	加里				
新 早生スーパー元肥 パワフル30	20kg	30	10	6	速効性	被覆尿素 25日	被覆尿素 50日	被覆尿素 70日
					5.1	8.2	9.7	7.0
新 晩生用高窒素 一発元肥	20kg	30	10	6	速効性	被覆尿素 40日	被覆尿素 70日	被覆尿素 110日
					5.0	12.0	5.0	8.0